

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式	
信 託 期 間	無期限	
運 用 方 針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主 要 投 資 象	ベビーファンド	ダイワ・ブラジル株式マザーファンドの受益証券
	ダイワ・ブラジル株式マザーファンド	ブラジルの金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。）ならびにブラジルの企業のDR（預託証券）
マザーファンドの運用方法	①主としてブラジルの株式（※）に投資し、中長期的にベンチマーク（ボベスパ指数（円換算））を上回る投資成果をめざして運用を行ないます。 ②経済情勢や業界動向等の分析を行なうとともに、個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等を総合的に勘案してポートフォリオを構築します。 ③外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドは、当該外貨建資産の運用について、サンタンデール アセット マネジメント（ブラジル）の助言を受けます。 ④株式の組入比率は、通常の状態では信託財産の純資産総額の80％程度以上に維持することを基本とします。 ⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。 （※）株式…DR（預託証券）を含みます。	
組 入 制 限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限
分 配 方 針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、収益分配前の基準価額が10,000円（1万口当り）を上回る場合に、当該超過額の範囲内で委託会社の判断により分配を行ないます。ただし、基準価額の動向等によっては、分配を行なわないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

ダイワ・ブラジル株式ファンド

運用報告書（全体版）

第26期（決算日 2014年 9 月22日）

第27期（決算日 2014年12月22日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ・ブラジル株式ファンド」は、このたび、第27期の決算を行ないました。

ここに、第26期・第27期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9：00～17：00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

最近10期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			ボ ベ ス パ 指 数 (配当込み、円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率	純資産 総 額
		税込み 分配金	期 中 騰落率	(ベンチマーク)	期 中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
18期末(2012年 9 月20日)	5,556	0	4.7	6,865	7.2	97.1	—	6,800
19期末(2012年12月20日)	5,825	0	4.8	7,141	4.0	95.9	—	7,263
20期末(2013年 3 月21日)	6,332	0	8.7	7,766	8.8	97.2	—	7,732
21期末(2013年 6 月20日)	5,020	0	△ 20.7	5,970	△ 23.1	96.7	—	5,889
22期末(2013年 9 月20日)	5,813	0	15.8	7,161	19.9	97.4	—	6,418
23期末(2013年12月20日)	5,483	0	△ 5.7	6,576	△ 8.2	96.9	—	5,695
24期末(2014年 3 月20日)	4,819	0	△ 12.1	5,831	△ 11.3	97.3	—	4,768
25期末(2014年 6 月20日)	5,843	0	21.2	7,280	24.9	97.0	—	5,389
26期末(2014年 9 月22日)	6,141	0	5.1	7,648	5.1	97.0	—	5,173
27期末(2014年12月22日)	5,230	0	△ 14.8	6,411	△ 16.2	97.5	—	4,262

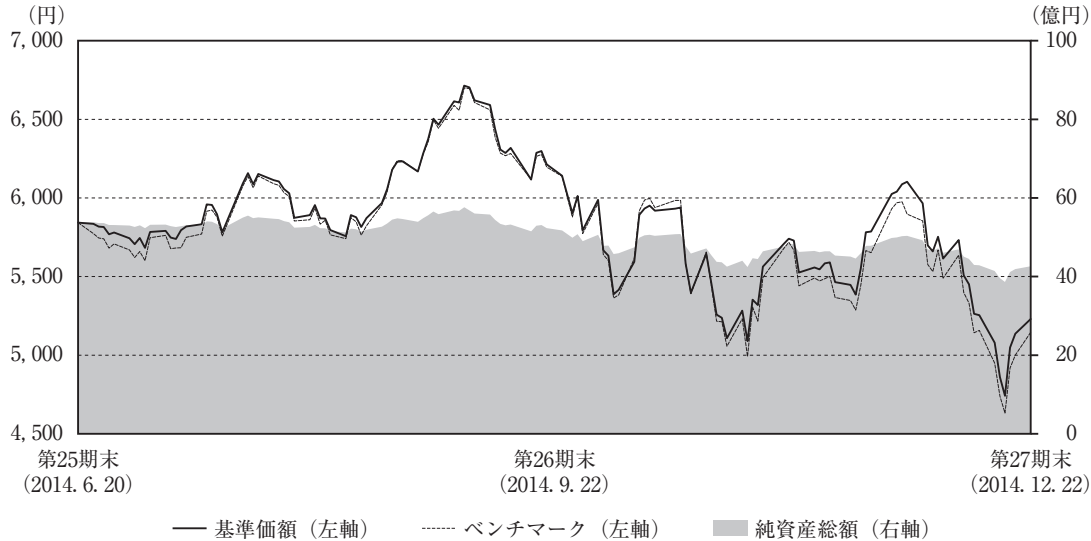
(注1) ボベスパ指数(配当込み、円換算)は、ボベスパ指数(ブラジル・リアル建て)を円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。

(注2) 海外の株価指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注3) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注4) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

当作成期間(第26期・第27期)中の基準価額と市況の推移



(注) ベンチマークは、第25期末の基準価額をもとに指数化したものです。

	年 月 日	基 準 価 額		ボ ベ ス パ 指 数 (配当込み、円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率
			騰 落 率	(ベンチマーク)	騰 落 率		
第26期	(期首)2014年 6 月20日	円 5,843	% —	7,280	% —	% 97.0	% —
	6 月末	5,744	△ 1.7	7,064	△ 3.0	97.3	—
	7 月末	6,030	3.2	7,486	2.8	97.7	—
	8 月末	6,466	10.7	8,027	10.3	96.9	—
	(期末)2014年 9 月22日	6,141	5.1	7,648	5.1	97.0	—
第27期	(期首)2014年 9 月22日	6,141	—	7,648	—	97.0	—
	9 月末	5,667	△ 7.7	7,027	△ 8.1	96.6	—
	10月末	5,563	△ 9.4	6,845	△ 10.5	96.9	—
	11月末	6,103	△ 0.6	7,347	△ 3.9	97.8	—
	(期末)2014年12月22日	5,230	△ 14.8	6,411	△ 16.2	97.5	—

(注) 騰落率は期首比。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

第26期首：5,843円 第27期末：5,230円 騰落率：△10.5%

【基準価額の主な変動要因】

ブラジル株式に投資した結果、基準価額は大幅に値下がりしました。ブラジル株式が下落したためマイナス要因となり、為替もブラジル・レアルが円に対して下落したためマイナス要因となりました。

◆投資環境について

○ブラジル株式市況

第26期首から2014年 8 月末にかけてのブラジル株式市況は、大統領選挙の世論調査においてルセフ大統領の支持率低下、野党候補の支持率上昇が続いたため、10月の大統領選挙における政権交代期待が高まり、上昇が続きました。しかし、9 月以降にルセフ大統領が支持率を回復し、10月の選挙で再選を果たしたため、10月にかけては下落しました。その後、低迷する経済の立て直しを図るためにルセフ大統領が市場から信頼されているレビ氏を次期財務相に指名したことで、ルセフ政権 2 期目の経済政策運営への楽観的な見方が広まり、11月末にかけて上昇しました。しかし、供給過剰懸念から原油価格が急落する中で他の産油国と同様にブラジル株式への売り圧力が強まり、12月は軟調な展開となりました。

○為替相場

ブラジル・レアル円相場は第26期首45円台で始まりました。F R B（米国連邦準備制度理事会）が量的緩和政策の縮小を進めたことで新興国通貨全般への売り圧力が強かった一方で、政権交代期待を背景にした投資家のレアル買いも強く、2014年 8 月にかけてレアルはレンジ内の動きとなりました。その後、ルセフ大統領が劣勢を挽回して再選を果たす中で10

ダイワ・ブラジル株式ファンド

月にかけてリアル安が進行し、一時は42円台まで下落しました。10月末には、日銀が予想外の追加緩和を発表したことで円が他国通貨に対して大きく下落したため、リアル円相場も大幅な円安リアル高となり、11月後半には47円台まで上昇しました。しかし、12月は原油価格の下落を背景にリアルは反落し、44円台で第27期末を迎えました。

◆前作成期間末における「今後の運用方針」

・株式組入比率

「ダイワ・ブラジル株式マザーファンド」の受益証券を通じ、基本的に株式組入比率は高位とする方針です。

・ポートフォリオ

経済情勢や業界動向等の分析と個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等の分析の組合せにより、マザーファンドのポートフォリオを構築します。マザーファンドの外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。なお、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドは、当該外貨建資産の運用について、サンタンデール アセット マネジメント（ブラジル）の助言を受けます。

◆ポートフォリオについて

○当ファンド

「ダイワ・ブラジル株式マザーファンド」の受益証券を通じ、株式組入比率をおおむね95%程度以上としました。

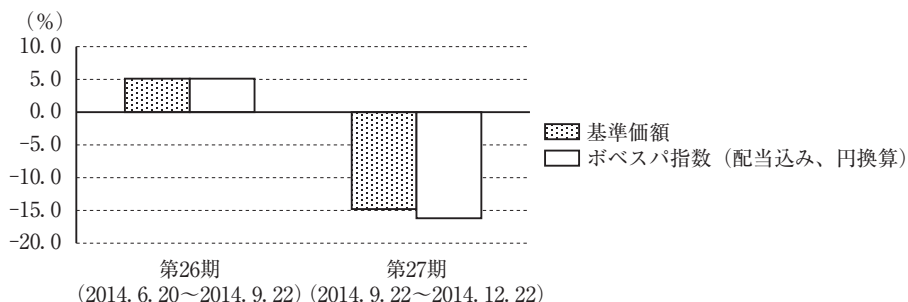
○ダイワ・ブラジル株式マザーファンド

株式組入比率を96～98%程度とし、成長性や株価バリュエーション等の分析に基づき、ポートフォリオを構築しました。ブラジル景気の短期的な見通しが悪化する中でも安定した成長が期待された JBS（生活必需品）や GRUPO PAO DE ACUCAR（生活必需品）の組入比率を上げた一方で、株価上昇により割安感が後退した EMBRAER（資本財・サービス）や FIBRIA CELULOSE（素材）の組入比率を下げました。足元のポートフォリオは、業種では、金融、生活必需品、エネルギーの3セクターを高位の組入れとしました。個別銘柄では、利ざやの拡大や営業費用の抑制により業績が拡大している一方で、バリュエーションが魅力的な水準にとどまっている BANCO BRADESCO（金融）や ITAU UNIBANCO（金融）、新しい経営陣による戦略転換により業績が改善している BRASIL FOODS（生活必需品）を高位の組入れとしました。

◆ベンチマークとの差異について

ベンチマーク（ボベスパ指数（配当込み、円換算））の騰落率は11.9%の下落となりました。一方、当ファンドの基準価額の騰落率は10.5%の下落となりました。ブラジル株式市場が下落したため、ファンドの保有現金部分がプラスに働きました。また金融セクターのオーバーウエートや電気通信サービスセクターのアンダーウエートにより、業種構成はプラスに寄与し、FIBRIA CELULOSE（素材）や EQUATORIAL ENERGIA（公益事業）のオーバーウエートにより、銘柄構成もプラスに寄与しました。

以下のグラフは当ファンドの基準価額とベンチマークとの騰落率の対比です。



◆分配金について

第26期および第27期は、分配方針通り、基準価額の水準を勘案して、収益分配を見送らせていただきました。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項 目	第26期	第27期
	2014年 6 月21日 ～2014年 9 月22日	2014年 9 月23日 ～2014年12月22日
当 期 分 配 金 （ 税 込 み ） (円)	—	—
対 基 準 価 額 比 率 （ % ）	—	—
当 期 の 収 益 (円)	—	—
当 期 の 収 益 以 外 (円)	—	—
翌 期 繰 越 分 配 対 象 額 (円)	1,001	1,017

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売却等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

《今後の運用方針》

○当ファンド

「ダイワ・ブラジル株式マザーファンド」の受益証券を通じ、基本的に株式組入比率は高位とする方針です。

○ダイワ・ブラジル株式マザーファンド

経済情勢や業界動向等の分析と個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等の分析の組合わせにより、ポートフォリオを構築します。外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。なお、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドは、当該外貨建資産の運用について、サンタンデール アセット マネジメント（ブラジル）の助言を受けます。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	第26期～第27期		項 目 の 概 要
	(2014. 6. 21～2014. 12. 22)		
	金 額	比 率	
信託報酬	53円	0. 916%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額（月末値の平均値）は5, 817円です。
（投信会社）	(25)	(0. 436)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(25)	(0. 436)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(3)	(0. 043)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	8	0. 132	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数
（株式）	(8)	(0. 132)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	0	0. 008	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
（株式）	(0)	(0. 008)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	5	0. 080	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(3)	(0. 046)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(2)	(0. 031)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	66	1. 136	

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注 2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注 3) 比率欄は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 売買及び取引の状況
親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2014年6月21日から2014年12月22日まで)

決 算 期	第 26 期 ～ 第 27 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ダイワ・ブラジル株式 マザーファンド	千口 384, 703	千円 233, 000	千口 1, 461, 230	千円 909, 000

(注) 単位未満は切捨て。

■ 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合
(2014年6月21日から2014年12月22日まで)

項 目	第 26 期 ～ 第 27 期
	ダイワ・ブラジル株式マザーファンド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	5, 346, 759千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	6, 737, 494千円
(c) 売 買 高 比 率 (a)／(b)	0. 79

(注 1) (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注 2) 単位未満は切捨て。

■ 利害関係人との取引状況

当作成期間（第26期～第27期）中における利害関係人との取引はありません。

■ 組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	第25期末	第 27 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ダイワ・ブラジル株式 マザーファンド	千口 8, 777, 222	千口 7, 700, 696	千円 4, 258, 484

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2014年12月22日現在

項 目	第 27 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・ブラジル株式マザーファンド	4, 258, 484	99. 1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等、そ の 他	36, 699	0. 9
投 資 信 託 財 産 総 額	4, 295, 183	100. 0

- (注1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、12月22日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝119. 50円、1ブラジル・レアル＝44. 90円です。
(注3) ダイワ・ブラジル株式マザーファンドにおいて、第27期末における外貨建純資産（5, 753, 306千円）の投資信託財産総額（5, 800, 511千円）に対する比率は、99. 2%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2014年9月22日)、(2014年12月22日) 現在

項 目	第 26 期 末	第 27 期 末
(A)資 産	5, 214, 933, 956円	4, 295, 183, 965円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	44, 531, 445	32, 699, 037
ダイワ・ブラジル株式マザーファンド(評価額)	5, 163, 402, 511	4, 258, 484, 928
未 収 入 金	7, 000, 000	4, 000, 000
(B)負 債	41, 405, 488	32, 802, 288
未 払 解 約 金	16, 274, 326	11, 589, 644
未 払 信 託 報 酬	25, 056, 634	21, 075, 436
そ の 他 未 払 費 用	74, 528	137, 208
(C)純資産総額(A－B)	5, 173, 528, 468	4, 262, 381, 677
元 本	8, 424, 329, 311	8, 149, 415, 490
次 期 繰 越 損 益 金	△ 3, 250, 800, 843	△ 3, 887, 033, 813
(D)受益権総口数	8, 424, 329, 311口	8, 149, 415, 490口
1万口当り基準価額(C／D)	6, 141円	5, 230円

- *第25期末における元本額は9, 224, 563, 363円、当作成期間（第26期～第27期）中における追加設定元本額は952, 772, 931円、同解約元本額は2, 027, 920, 804円です。
*第27期末の計算口数当りの純資産額は5, 230円です。
*第27期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は3, 887, 033, 813円です。

■損益の状況

第26期 自2014年6月21日 至2014年9月22日
第27期 自2014年9月23日 至2014年12月22日

項 目	第 26 期	第 27 期
(A)配 当 等 収 益	4, 528円	3, 645円
受 取 利 息	4, 528	3, 645
(B)有価証券売買損益	266, 321, 386	△ 693, 337, 462
売 買 益	306, 615, 902	45, 846, 543
売 買 損	△ 40, 294, 516	△ 739, 184, 005
(C)信 託 報 酬 等	△ 25, 131, 162	△ 21, 138, 116
(D)当期損益金(A＋B＋C)	241, 194, 752	△ 714, 471, 933
(E)前期繰越損益金	△ 917, 776, 353	△ 607, 841, 969
(F)追加信託差損益金	△2, 574, 219, 242	△2, 564, 719, 911
(配 当 等 相 当 額)	(423, 396, 226)	(439, 512, 231)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△2, 997, 615, 468)	(△3, 004, 232, 142)
(G)合 計(D＋E＋F)	△3, 250, 800, 843	△3, 887, 033, 813
次期繰越損益金(G)	△3, 250, 800, 843	△3, 887, 033, 813
追加信託差損益金	△2, 574, 219, 242	△2, 564, 719, 911
(配 当 等 相 当 額)	(423, 396, 226)	(439, 512, 231)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△2, 997, 615, 468)	(△3, 004, 232, 142)
分 配 準 備 積 立 金	420, 264, 805	389, 461, 884
繰 越 損 益 金	△1, 096, 846, 406	△1, 711, 775, 786

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
(注3) 収益分配金の計算過程は7ページの「収益分配金の計算過程（総額）」の表を参照。
(注4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：14, 197, 639円（未監査）

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 26 期	第 27 期
(a) 経 費 控 除 後 の 配 当 等 収 益	28,102,608円	11,895,323円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0
(c) 収 益 調 整 金	423,396,226	439,512,231
(d) 分 配 準 備 積 立 金	392,162,197	377,566,561
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	843,661,031	828,974,115
(f) 分 配 金	0	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	843,661,031	828,974,115
(h) 受 益 権 総 口 数	8,424,329,311口	8,149,415,490口

復興特別所得税ならびに証券税制の軽減税率の廃止に関するお知らせ

- ・2013年1月1日から普通分配金ならびに解約時または償還時の差益に対し、所得税に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が課されています。また、証券税制の軽減税率は2013年12月31日をもって廃止されています。そのため2013年1月1日から2013年12月31日までは10.147%（所得税7%、復興特別所得税0.147%および地方税3%）、2014年1月1日以降は20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率が適用されます。
- ・復興特別所得税に係る記載がされた目論見書の再交付をご希望される受益者の方につきましては、その旨を販売会社までお申し出ください。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

《お知らせ》

- 運用報告書（全体版）の電子交付について
2014年12月1日施行の法改正により、運用報告書は「交付運用報告書」と「運用報告書（全体版）」（本書）の2種類になりましたが、「運用報告書（全体版）」については、交付に代えて電子交付する旨を信託約款に定めました。
- 書面決議手続きの改正について
重大な約款変更や繰上償還の際に行なう書面決議について、2014年12月1日施行の法改正により以下の点が変更されたことに伴い、信託約款の該当箇所の変更を行ないました。
 - ・書面決議の可決要件が、「受益者の半数以上の賛成かつ受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」から「受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」に変更されました。
 - ・投資信託の併合を行なう際、すべての場合で書面決議が必要とされてきましたが、その併合が受益者の利益に及ぼす影響が軽微なものであるときは、当該併合に関する書面決議が不要となりました。
 - ・書面決議に反対した受益者による受益権買取請求の規定について、一部解約請求に応じる投資信託（当ファンドは該当します。）には適用されなくなりました。

ダイワ・ブラジル株式マザーファンド

運用報告書 第14期（決算日 2014年12月22日）

（計算期間 2014年 6 月21日～2014年12月22日）

ダイワ・ブラジル株式マザーファンドの第14期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	ブラジルの金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。）ならびにブラジルの企業のD R（預託証券）
運用方法	①主としてブラジルの株式（※）に投資し、中長期的にベンチマーク（ボベスパ指数（円換算））を上回る投資成果をめざして運用を行ないます。 ②経済情勢や業界動向等の分析を行なうとともに、個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等を総合的に勘案してポートフォリオを構築します。 ③外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドは、当該外貨建資産の運用について、サンタンデール アセット マネジメント（ブラジル）の助言を受けます。 ④株式の組入比率は、通常の状態で信託財産の純資産総額の80％程度以上に維持することを基本とします。 ⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。 （※）株式…D R（預託証券）を含みます。
株式組入制限	無制限

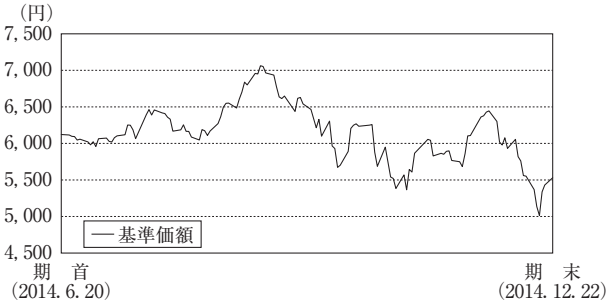
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基 準 価 額		ボベスバ指数 (配当込み、円換算)		株 式 組 入 率	株 式 先 物 率
	円	騰落率	(ベンチマーク)	騰落率		
(期首)2014年 6 月20日	6,122	—	7,032	—	97.3	—
6 月末	6,021	△ 1.6	6,824	△ 3.0	97.5	—
7 月末	6,331	3.4	7,232	2.8	97.7	—
8 月末	6,800	11.1	7,754	10.3	97.1	—
9 月末	5,966	△ 2.5	6,787	△ 3.5	96.8	—
10 月末	5,866	△ 4.2	6,612	△ 6.0	97.1	—
11 月末	6,445	5.3	7,097	0.9	97.9	—
(期末)2014年12月22日	5,530	△ 9.7	6,193	△11.9	97.6	—

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) ボベスバ指数 (配当込み、円換算) は、ボベスバ指数 (ブラジル・レアル建て) を円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：6,122円 期末：5,530円 騰落率：△9.7%

【基準価額の主な変動要因】

ブラジル株式に投資した結果、基準価額は大幅に値下がりしました。ブラジル株式が下落したためマイナス要因となり、為替もブラジル・レアルが円に対して下落したためマイナス要因となりました。

◆投資環境について

○ブラジル株式市況

期首から2014年8月末にかけてのブラジル株式市況は、大統領選挙の世論調査においてルセフ大統領の支持率低下、野党候補の支持率上昇が続いたため、10月の大統領選挙における政権交代期待が高まり、上昇が続きました。しかし、9月以降にルセフ大統領が支持率を回復し、10月の選挙で再選を果たしたため、10月にかけては下落しました。その後、低迷する経済の立て直しを図るためにルセフ大統領が市場から信頼されているレビシを次期財務相に指名したことで、ルセフ政権2期目の経済政策運営への楽観的な見方が広まり、11月末にかけて上昇しました。しかし、供給過剰懸念から原油価格が急落する中で他の産油国と同様にブラジル株式への売り圧力が強まり、12月は軟調な展開となりました。

○為替相場

ブラジル・レアル円相場は期首45円台で始まりしました。FRB (米国連邦準備制度理事会) が量的緩和政策の縮小を進めたことで新興国通貨全般への売り圧力が強かった一方で、政権交代期待を背景にした投資家のレアル買いも強く、2014年8月にかけてレアルはレンジ内の動きとなりました。その後、ルセフ大統領が劣勢を挽回して再選を果たす中で10月にかけてレアル安が進行し、一時は42円台まで下落しました。10月末には、日銀が予想外の追加緩和を発表したことで円が他国通貨に対して大きく下落したため、レアル円相場も大幅な円安レアル高となり、11月後半には47円台まで上昇しました。しかし、12月は原油価格の下落を背景にレアルは反落し、44円台で期末を迎えました。

◆前期における「今後の運用方針」

・株式組入比率

基本的に株式組入比率は高位とする方針です。

・ポートフォリオ

経済情勢や業界動向等の分析と個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等の分析の組み合わせにより、ポートフォリオを構築します。外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント (アメリカ) リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。なお、ダイワ・アセット・マネジメント (アメリカ) リミテッドは、当該外貨建資産の運用について、サンタンデール アセット マネジメント (ブラジル) の助言を受けます。

◆ポートフォリオについて

株式組入比率を96～98%程度とし、成長性や株価バリュエーション等の分析に基づき、ポートフォリオを構築しました。ブラジル景気の短期的な見通しが悪化する中でも安定した成長が期待されたJBS (生活必需品) やGRUPO PAO DE ACUCAR (生活必需品) の組入比率を上げた一方で、株価上昇により割安感が後退したEMBRAER (資本財・サービス) やFIBRIA CELULOSE (素材) の組入比率を下げました。足元のポートフォリオは、業種では、金融、生活必需品、エネルギーの3セクターを高位の組入れとしました。個別銘柄では、利ざやの拡大や営業費用の抑制により業績が拡大している一方で、バリュエーションが魅力的な水準にとどまっているBANCO

BRADESCO（金融）や ITAU UNIBANCO（金融）、新しい経営陣による戦略転換により業績が改善している BRASIL FOODS（生活必需品）を高位の組入れとしました。

◆ベンチマークとの差異について

ベンチマーク（ボバスパ指数（配当込み、円換算））の騰落率は 11.9% の下落となりました。一方、当ファンドの騰落率は 9.7% の下落となりました。ブラジル株式市場が下落したため、ファンドの保有現金部分がプラスに働きました。また金融セクターのオーバーウエートや電気通信サービスセクターのアンダーウエートにより、業種構成はプラスに寄与し、FIBRIA CELULOSE（素材）や EQUATORIAL ENERGIA（公益事業）のオーバーウエートにより、銘柄構成もプラスに寄与しました。

《今後の運用方針》

経済情勢や業界動向等の分析と個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等の分析の組合わせにより、ポートフォリオを構築します。外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。なお、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドは、当該外貨建資産の運用について、サンタンデール アセット マネジメント（ブラジル）の助言を受けます。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 （株式）	8円 (8)
有価証券取引税 （株式）	1 (1)
その他費用 （保管費用） （その他）	5 (3) (2)
合 計	14

（注 1）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1 万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

（注 2）各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

株 式

（2014 年 6 月 21 日から 2014 年 12 月 22 日まで）

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 6,787 (—)	千アメリカ・ドル 11,129 (—)	百株 10,580.77	千アメリカ・ドル 13,964
	ブラジル	百株 17,579 (170)	千ブラジル・レアル 23,312 (—)	百株 17,335	千ブラジル・レアル 33,864

（注 1）金額は受渡し代金。

（注 2）（ ）内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

（注 3）金額の単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

株 式

（2014 年 6 月 21 日から 2014 年 12 月 22 日まで）

当 期				期			
買 付				売 付			
銘柄	株 数	金 額	平均単価	銘柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
BANCO BRADESCO PREF-ADR（ブラジル）	160.5	264,582	1,648	ITAU UNIBANCO PREF-ADR（ブラジル）	177	269,508	1,522
GRUPO PAO DE ACUCAR PF A-ADR（ブラジル）	48.2	234,130	4,857	EMBRAER SA-ADR（ブラジル）	59.5	232,674	3,910
PETROBRAS PREF-SPON ADR（ブラジル）	101	156,468	1,549	AMBEV SA-ADR（ブラジル）	266	206,554	776
PETROBRAS SA-ADR（ブラジル）	70	156,380	2,234	PETROBRAS PREF-SPON ADR（ブラジル）	125	205,676	1,645
ESTACIO（ブラジル）	102	137,386	1,346	FIBRIA CELULOSE SA-SPON ADR（ブラジル）	116	155,305	1,338
JBS SA（ブラジル）	316	134,933	427	CIELO SA（ブラジル）	82.2	152,516	1,855
VALE SA PREF A-ADR（ブラジル）	116	122,584	1,056	COSAN（ブラジル）	89	152,219	1,710
EMBRAER SA-ADR（ブラジル）	26.5	111,228	4,197	BRASIL FOODS SA-ADR（ブラジル）	45	127,581	2,835
ITAU UNIBANCO PREF-ADR（ブラジル）	64	108,537	1,695	BB SEGURIDADE PARTICIPACOES（ブラジル）	71	110,934	1,562
CPFL ENERGIA SA（ブラジル）	104	93,418	898	BANCO DO BRASIL SA（ブラジル）	90	105,359	1,170

（注 1）金額は受渡し代金。

（注 2）金額の単位未満は切捨て。

ダイワ・ブラジル株式マザーファンド

■組入資産明細表
外 国 株 式

銘 柄		期 首	当	期 末		業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
		百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
(アメリカ)						
ITAU UNIBANCO PREF-ADR		5,664.95	4,534.95	5,813	694,749	金融
GERDAU SA PREF-ADR		1,379	1,959	701	83,807	素材
BRASIL FOODS SA-ADR		1,658	1,258	2,975	355,532	生活必需品
BANCO BRADESCO PREF-ADR		3,274.43	4,529.43	5,938	709,600	金融
PETROBRAS SA-ADR		834	1,464	1,040	124,388	エネルギー
AMBEV SA-ADR		6,710	4,050	2,434	290,868	生活必需品
TELEFONICA BRASIL PF-ADR		382.8	397.8	690	82,571	電気通信サービス
PETROBRAS PREF-SPON ADR		3,117	2,877	2,111	252,350	エネルギー
CEMIG SA-PREF ADR		1,240.77	—	—	—	公益事業
VALE SA PREF A-ADR		2,110	2,615	1,856	221,869	素材
EMBRAER SA-ADR		595	265	962	115,048	資本財・サービス
FIBRIA CELULOSE SA-SPON ADR		1,780	620	730	87,278	素材
ULTRAPAR PARTICPAC ADR		763	713	1,361	162,653	エネルギー
GRUPO PAO DE ACUCAR PF A-ADR		111	543	1,981	236,843	生活必需品
アメリカ・ドル通貨計	株 数、 金 額	29,619.95	25,826.18	28,598	3,417,562	
	銘 柄 数 < 比 率 >	14 銘柄	13 銘柄		<59.0%>	
(ブラジル)		百株	百株	千ブラジル・リアル	千円	
USIMINAS-PREF A		1,640	—	—	—	素材
VALE SA		789	—	—	—	素材
ITAUSA-PREF		4,931.9	4,331.9	4,154	186,527	金融
BRADESPAR SA -PREF		720	600	811	36,422	素材
BANCO DO BRASIL SA		1,202.64	302.64	736	33,088	金融
COSAN		1,060	170	473	21,257	エネルギー
OI SA-PREFERENCE		—	4,500	450	20,205	電気通信サービス
CCR		2,470	1,850	2,867	128,750	資本財・サービス
SOUZA CRUZ SA		—	480	921	41,379	生活必需品
CPFL ENERGIA SA		—	940	1,700	76,350	公益事業
LOJAS RENNER S. A.		500	270	2,038	91,528	一般消費財・サービス
LOJAS AMERICANAS SA-PREF		1,709.05	509.05	830	37,278	一般消費財・サービス
JBS SA		—	2,160	2,639	118,514	生活必需品
BM&FBOVESPA SA		2,190	3,210	3,027	135,913	金融
BR MALLS		675	1,025	1,617	72,623	金融
CIELO SA		1,807.2	1,400.2	5,656	253,990	情報技術
HYPERMARCAS SA		—	750	1,210	54,351	生活必需品
EZ TEC EMPREENDIMENTOS E		810	—	—	—	一般消費財・サービス
EQUATORIAL ENERGIA SA		1,640	1,050	2,857	128,281	公益事業
BC SANTANDER (BRASIL) -UNITS		1,295	565	752	33,765	金融
BR PROPERTIES SA		1,860	970	979	43,988	金融
ESTACIO		880	1,775	4,442	199,482	一般消費財・サービス
CETIP		620	570	1,768	79,389	金融
KLABIN SA - UNIT		1,940	1,700	2,381	106,938	素材
KROTON EDUCACIONAL SA		—	500	807	36,256	一般消費財・サービス
ALUPAR INVESTIMENTO SA-UNIT		—	400	682	30,621	公益事業
DURATEX SA		757.02	557.02	455	20,433	素材
BB SEGURIDADE PARTICIPACOES		2,460	1,785	5,551	249,255	金融
ブラジル・リアル通貨計	株 数、 金 額	31,956.81	32,370.81	49,812	2,236,597	
	銘 柄 数 < 比 率 >	21 銘柄	25 銘柄		<38.6%>	
フ ァ ン ド 合 計	株 数、 金 額	61,576.76	58,196.99	—	5,654,160	
	銘 柄 数 < 比 率 >	35 銘柄	38 銘柄		<97.6%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < > は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2014年12月22日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株 式	5,654,160	97.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等、その他	146,350	2.5
投 資 信 託 財 産 総 額	5,800,511	100.0

- (注1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、12月22日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝119.50円、1ブラジル・レアル＝44.90円です。
(注3) 当期末における外貨建純資産(5,753,306千円)の投資信託財産総額(5,800,511千円)に対する比率は、99.2%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2014年12月22日現在

項 目	当 期 末
(A)資 産	5,800,511,012円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	139,715,748
株 式 (評価額)	5,654,160,572
未 収 配 当 金	6,634,692
(B)負 債	4,500,000
未 払 解 約 金	4,500,000
(C)純 資 産 総 額 (A－B)	5,796,011,012
元 本	10,481,306,805
次 期 繰 越 損 益 金	△ 4,685,295,793
(D)受 益 権 総 口 数	10,481,306,805口
1 万 口 当 り 基 準 価 額 (C/D)	5,530円

- *期首における元本額は11,918,690,268円、当期中における追加設定元本額は605,670,897円、同解約元本額は2,043,054,360円です。
*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・ブラジル株式ファンド7,700,696,073円、ブラジル株式オープン2,293,436,628円、ダイワ・エマージング&ジャパン・ファンド426,819,670円、ダイワ新興4カ国株式ファンド(ダイワSMA専用)60,354,434円です。
*当期末の計算口数当りの純資産額は5,530円です。
*当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は4,685,295,793円です。

■損益の状況

当期 自2014年6月21日 至2014年12月22日

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	93,406,781円
受 取 配 当 金	84,880,848
受 取 利 息	31,413
そ の 他 収 益 金	8,494,520
(B)有価証券売買損益	△ 677,698,337
売 益	832,297,904
売 買 損	△ 1,509,996,241
(C)そ の 他 費 用	△ 5,457,094
(D)当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 589,748,650
(E)前期繰越損益金	△ 4,622,430,606
(F)解約差損益金	771,054,360
(G)追加信託差損益金	△ 244,170,897
(H)合 計 (D + E + F + G)	△ 4,685,295,793
次期繰越損益金 (H)	△ 4,685,295,793

- (注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

《お知らせ》

●書面決議手続きの改正について

重大な約款変更や繰上償還の際に行なう書面決議について、2014年12月1日施行の法改正により以下の点が変更されたことに伴い、信託約款の該当箇所の変更を行ないました。

- ・書面決議の可決要件が、「受益者の半数以上の賛成かつ受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」から「受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」に変更されました。
- ・投資信託の併合を行なう際、すべての場合で書面決議が必要とされてきましたが、その併合が受益者の利益に及ぼす影響が軽微なものであるときは、当該併合に関する書面決議が不要となりました。
- ・書面決議に反対した受益者による受益権買取請求の規定について、一部解約請求に応じる投資信託（当ファンドは該当します。）には適用されなくなりました。